



蕨の芸術・文化の拠点
市民会館ホールが装い新たに

市長 頼高 英雄

蕨市民会館は、昭和49年に誕生し、以来半世紀にわたり、蕨の芸術・文化の拠点として、多くの市民の皆さんに親しまれてきました。コロナ禍で中止されていたイベントが再開され、ホールに演奏が響き渡った時は、感動とともに、芸術・文化が私たちの人生に与える力を改めて実感しました。そんな市民会館大ホールが、この度リニューアルオープンします。客席を一新し、より

ゆつたり鑑賞できる空間となるとともに、舞台床や舞台照明も新調しています。また、これを機に、音楽のまち・蕨にふさわしく、世界の名だたる音楽ホールで採用されているスタインウェイのグランドピアノを導入しました。

いよいよ今月2日、県内初のプロオーケストラであるチエンバーオーケストラ蕨によるこけら落とし公演が行われますが、今月末から始まる蕨市民音楽祭をはじめ、新たな装いとなったホールに、皆さん、ぜひお越しください。

ホールは、その街の市民とともに育つと言われますが、皆さんと響き合いながら、豊かな蕨の芸術・文化を更に発展させていきたいと思えます。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は6日です。9月は3日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。